

【樹木・草花の部屋】

ウメ (バラ科/サクラ属 Prunus mume)

和名; ウメ(梅) **別名**; 好文木 (こうぶんぼく)、春告げ草、風待ち草 **英名**; Japanese apricot
バラ目 落葉高木

原産地; 中国 **花言葉**; 高潔な心、高潔、潔白、澄んだ心、忠義 **花の色**; 白、ピンク、赤



← 写真－1 シラウメの樹形

撮影日：2013年3月9日

撮影場所：奈良県大和郡山市 M 邸にて

撮影者：M さん



写真－2 シラウメの花 ⇒

撮影日：2013年3月9日

撮影場所：大和郡山市 M 邸にて

撮影者：M さん

◎シダレウメ

③

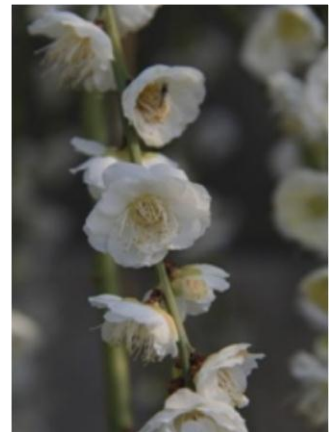


写真－3,4,5 シダレウメの樹形、花
撮影場所：大和郡山市内にて

④



⑤



撮影日時：2013.03.08

撮影者：M さん

【樹木・草花の部屋】



写真－6 シダレウメの樹形

撮影場所：大和郡山市内にて

撮影日：2012.05.19

撮影者：Mさん

「歳寒三友」(さいかんのさんゆう) 松・竹・梅のひとつ。東アジアではポピュラーな樹木。今年も、我が家のウメが開花しました。ここ数年、毎年、多くの花を付けてくれます。そして実の収穫。大きな隔年性も無く……。かすかなウメの香りは心が和みます。ウグイスでも飛んできてくれるともっと、楽しみが増すのですが、思うようにはなかなか……。我が家のウメは一重のごく一般的な種類ですが、樹齢は40年以上。

最寄駅に向かう途中に、毎年、見事に咲き誇るシダレウメの紅梅、白梅があります。今年も満開になり、とても良い香りを漂わせていました。

シダレウメ(枝垂れ梅)は梅の一品種。花の少ない初春の2月、枝垂れた枝にたくさんの濃桃色の八重の小花を咲かせ、華やかで美しい。葉は互生、葉縁には浅い鋸歯(ぎざぎざ)があります。

和名：シダレウメ(枝垂れ梅)

学名：Prunus mume form. pendula 花の色；白・白紅・淡紅

ウメは2月～4月に5枚の花弁のある1cm～3cmほどの花を葉に先立って咲かせ、葉は互生で先がとがった卵形、周囲が鋸歯状。果実は2cm～3cmのほぼ球形の核果で、実の片側に浅い溝がある。6月頃に黄色く熟します。梅には300種以上の品種があり、野梅系、紅梅系、豊後系の3系統に分類されます。

「桜伐(き)る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿」

春先に咲く代表的な花である桜と梅の栽培上の注意を示したもの。桜はむやみに伐ると切り口から腐敗しがちであり、剪定には注意が必要。一方、梅の樹は剪定に強く、むしろかなり切り詰めないと徒長枝が伸びて樹形が雑然と……。花芽は年々枝先へと移動するため実が付く枝は通常数年で枯れ込んでしまう。実の収穫が目的であれば、定期的に枝の更新を図る必要が……。詳しい剪定例は[ここをクリック](#)します。

<ちょっと一言>

日本の家紋にウメの花を図案化した梅紋(うめもん)があります。特に「梅鉢」は中心から放射線状に配置した花弁が太鼓の撥に似ていることに由来。奈良時代に文様として用いられはじめ、菅原道真が梅の花を好んだことにより天満宮の神紋として用いられ始めたと考えられています。

果実は食用にでき、強い酸味が特徴。クエン酸をはじめとする有機酸などを多く含むので健康食品としても販売されています。我が家では梅干やシロップ漬け、ジャム等に加工して

【樹木・草花の部屋】

楽しんでいます。漢方薬では燻蒸（くんじょう）して真っ黒になった実を烏梅（うばい）といい、健胃、整腸、駆虫、止血、強心作用があるといわれているそうです。

バラ科の葉や未成熟の青い果実、核の中の種子には青酸配糖体（アミグダリン）が含まれ、未熟な種子や腸内細菌の酵素により、シアンを生成。これが胃酸により有毒性を発揮すると、痙攣や呼吸困難、さらには麻痺状態になって死亡に至る場合もあるとか……。胃酸や胃の消化酵素の分泌だけではシアンの生成は起こらないので、大量の種子をかみ砕いた場合を除いて誤摂取による中毒の危険は限定的だそうです。また、梅酒の青い実や梅干の種の中身などは、アルコールや塩分、熱により酵素が失活し、毒性は低下しているそうです。

＊実をとるなら白梅、花ウメなら赤ウメ、ピンクは両方です。枝の切り口の色でわかります。八重は実がありません。

ウメの別名

昔から愛されているウメですが、たくさんの別名があります。その初めにも紹介していますが他の一部を紹介します。

好文木（こうぶんぼく）、**春告草**（はるつげぐさ）、**木の花**（このはな）、**初名草**（はつなぐさ）、**香散見草**（かざみぐさ）、**風待草**（かぜまちぐさ）、**匂草**（においぐさ）などがあります。